

モスクワ地下鉄テロのロシア株式市場への影響について

大和証券投資信託委託株式会社

【テロの概要】

3月29日(現地)の朝、モスクワ市内2カ所の地下鉄駅構内(赤の広場から1キロメートル未満に位置するルビヤンカ駅とバルク・クリトゥールイ駅)で自爆テロが発生し、38人が死亡、けが人は70人以上にのぼりました。自爆テロを実行した女性2人はカフカス系で、南部のチェチェン共和国や隣のイングーシ共和国など、北カフカスで活動するテログループが関与した疑いが強まっています。ルビヤンカ駅は、旧ソ連国家保安委員会(KGB)の後継機関FSB本部の最寄り駅であり、対テロ強硬路線を貫く政権への報復を狙った可能性もあると伝えられています。

【ロシア株式市場への影響と今後の見通し】

3月29日(現地)のロシア株式市場は、テロ事件発生にもかかわらず、原油価格上昇を好感してRTS指数(ドル建)で+2.1%の上昇となりました。ルーブルも、対ドルで0.3%の上昇、対ユーロでは0.3%の下落と小動きとなり、為替市場に対する影響も限定的となりました。

今後のロシア株式市場は、外部環境要因(南欧諸国の信用不安、中国の金融引き締め)によって値動きの荒い局面もあるものと思われませんが、1)世界的な景気回復の継続、2)原油価格安定により2010年のロシアGDP(国内総生産)成長率は+5%程度が見込まれていること、3)ロシア中央銀行の緩和的な金融政策の継続(3月26日に0.25%の利下げを発表し、2009年4月からの利下げ幅合計は4.75%)、4)他の市場と比較して株価評価面で割安であること、5)ロシアの政府債務(対GDP比率)はわずか7%台と財政状況が相対的に強固であること、などの良好なファンダメンタルズを反映して中長期的には底堅い動きが継続するものと予想しています。

【RTS指数(米ドル建て)】



(出所)ブルームバーグデータより大和投資信託作成

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会